

通商産業部

# 新エネ・省エネ“JUST 21”－総合エネルギー展－



はじめに

近年、エネルギーセキュリティの確保及び地球温暖化問題への対応の観点から、省エネルギーの推進、新エネルギーの導入促進が重要な課題となっています。

このような状況の中、一般市民等に対する省エネルギー・新エネルギーの紹介と普及啓発を図ることを目的として、「総合エネルギー展－新エネ・省エネ JUST 21－」を去る七月七日から九日までの三日間、沖縄コンベンションセンター（宜野湾市）において開催しました。

本展示会は、当局、新エネルギー・産業技術総合開発機構、財団法人省エネルギーセンター三者の共催により開催したものです。

会場には、クリーンエネルギー自動車「トナー」、太陽光発電設備及び風力発電設備等「トナー」、省エネルギー「トナー」を設けた他、新エネルギー工作教室を開き、家族一緒に楽しめた内容としました。



盛況だったクリーンエネルギー自動車の試乗会



ラジオ出演中の米田奈美子さん

また、クリーンエネルギー自動車導入のための助成制度の説明及び自動車メーカー担当者のプレゼンテーション並びに新エネルギーキャンペンガールの米田奈美子さんも特別ゲストとして出演いただき、ラジオを通した広報活動も行いました。

## 新エネルギーとは

今まであまり使われていなかった太陽光、風など自然界のエネルギーを始め、捨てられていた廃棄物などを利用したりサイクル型エネルギー、燃料電池や、クリーンエネルギー自動車などの従来型エネルギーの新しい利用形態を新エネルギーと称しています。

このエネルギーを利用するため機器導入等については、補助金等の支援制度を準備しております。  
以下各トナーを紹介します。

## 省エネ・新エネの必要性

日本は、世界でも最高水準の省エネルギー化を達成している国ですが、依然としてエネルギーの消費は増えています。引き続き、エネルギーの使用の合理化を徹底することが強く求められています。加えて政府は、気候変動枠組条約第三回締約国会議(COP3)・京都議定書における温室効果ガスの削減目標を達成するため、産業、民生、運輸の全ての部門における省エネルギーの抜本対策、一〇〇年度までの太陽光発電五百万千瓦、風力三十万千瓦、クリーンエネルギー自動車三百六十五万台の導入目標をたてています。



クリーンエネルギー自動車の展示

**クリーンエネルギー自動車**「トナー」  
クリーンエネルギー自動車とは石油に代わる燃料を使用したり、燃料を節約したりして、「二酸化炭素や窒素酸化物など、地球や人に悪い影響を与えるものあまり出さないクリーンなエネルギー」を燃料とした低公害型の自動車のこと。電気自動車、ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、メタノール自動車などが実用化されています。今回の展示会では、電気

**自動車九台ハイブリッド自動車四台、天然ガス自動車三台の計十六台で展示と試乗会を行いました。**  
**太陽光・風力発電設備等**「トナー」  
太陽光発電、風力発電は、県内において最も導入促進が図られている新エネルギーです。風力発電は、既に二十三基が稼働し、太陽光発電は、約百一十家庭以上に設置され、その家庭での電気の一部を補っています。  
この「トナー」では、太陽光発電、風力発電のより一層の導入促進を図るために太陽光発電五社、風力発電二社が出展し、各製品の特徴等の紹介と展示を行いました。



風力発電施設と太陽光発電施設の展示



企業ブースでの展示

**省エネルギー**「トナー」  
省エネルギーは、「これまでがまん」「めんどうくわざ」「節約」というイメージで捉えらるがちでしたが、省エネルギーは、地球のことを考えて、省エネルギーを効率的に使い、かしこくシンプルな生活をしていくために、最も身近な「食」と「つまご」で、キッチン、リビングでの省エネ実演、省エネ機器の展示及びクイズを行い、新しい省エネ型「スマートスタイル SMART LIFE」の提案を行いました。

**終わりに**  
二酸化炭素等の温室効果ガスは、その殆どが我々の日常生活におけるエネルギーの消費によって発生しており、地球環境問題は、今や私達一人一人にとって身近な問題となつております。  
新エネルギー生きる私達はその事を自覚し、次世代へも豊かで快適な生活環境を引継いでいかなければなりません。

そのため、各人が日々の暮らしの中でエネルギー使用についての工夫や、地球環境保全のため、何をやらなければならぬか等を真剣に考えていく必要があります。



新エネルギー財團のブース